

メディアと音楽にこめる沖縄

～民が織りなす文化芸術・ことば・歴史の調べ～

講師：宮里英克氏(クマノデザイン代表)

沖縄本島を中心に同心円状に円を描くと、東アジアの中で沖縄は、日本、中国、東南アジアと、絶妙な位置関係にあることに気づく。小さいながらも独立国だった琉球は、その地理的優位性をもとに、バランス感覚溢れた外交を展開した。

文化や音楽も広く影響を受け、独自のものへと昇華させた。現在もその芸能は引き継がれている。

その独特な文化や歴史、音楽の話から、ブラジル・ハワイなど移民によって海外に広がる沖縄のこと、そして言語の話(ユネスコが2009年に発表した世界の消滅危機言語に沖縄の5言語も含まれている)など、幅広く話を進めていく。

また、コミュニティーラジオやフリーペーパーという、比較的小さなメディアでの発信の可能性についても言及する。

日時：7月24日(火)
16:30～18:00
(開場:16:00)

会場：神田外語大学7号館
クリスタルホール

司会：豊田 聡 先生
(本学国際コミュニケーション学科
准教授)

※事前申込み不要



講師略歴

那覇市出身。20代の頃、三線を片手に半年ほど、海外を放浪する。三線はどこの国の人々にも受け入れられる音色だと確信し、唄者への道を歩む。2012年、クマノデザイン設立。宮里三線教室、ラジオ番組ハイサイ！ウチナータイム！(FMおだわら)スタート。2016年、フリーペーパー創刊。現在、首都圏を中心に270ヶ所以上の沖縄関連施設、店舗に10,000部を配布。またイベント MC、講演活動など、幅広く沖縄の魅力を発信している。

